

縄文のうた -あの時代と同じ風を感じて-

ユイライジテッペイ (岡谷市)

外に出て目を閉じてみたら

すれ違う風の向こうに 森の音<sup>ね</sup>が聞こえた

<sup>ほほ</sup>頬に触れた風を追って

遠い遠い縄文の時代<sup>とき</sup>に誘われるこの街

いつの日も輝いている

朝日を背に この街を明るくしてくれるハヶ岳

暖かで 柔らかで そして…眩しくて

縄文の時代<sup>とき</sup>と同じ日差しがこの街を照らしている

静かな 静かな 遺跡<sup>した</sup>の地で

止ったままの時代<sup>とき</sup>の想いはずっと未来見つめてた

美しき土<sup>うつわ</sup>の器も石の飾りも 記憶<sup>あと</sup>の跡<sup>かけ</sup>を翔めぐる

過去と未来<sup>かけ</sup>を翔ぬける

眠り覚めた女神達は 今、青い空を見ている

あの時代<sup>とき</sup>のように吹く風<sup>ひ</sup>と陽を受けて